

どうなる学校週五日制



平八重 光輝議員

平八重光輝議員 四月から学校週五日制がスタートし、総合的な学習の時間が導入され、学校づくりの視点として四項目があげられているが、その内容は、

自ら学び自ら考える力を

権留教育長 総合的な学習の時間は、自ら学び自ら考える力を育てること、学び方や調べ方を身につけさせることを、主なねらいとしている。

平成十四年度から実施され、小学校で年間一〇五時間から一一〇時間、中学校で七〇時間から百二〇時間実施される。内容は、国際理解・情報・環境・福祉・健康等について

であり、地域の特色を生かしたものとなっている。

平八重議員 学校づくり四項目の具体策は、

教育長 第一は、責任を果たすこと。学校では、まず子供にとつて安心・安全な勉強の場であること、知・徳・体にわたる「力」を確実に習得させることである。

第二は、個性の花咲く学校。教師と子供たちが、温かい信頼関係であることが大切である。一人一人の長所をほめることにより、意欲や関心を高め個性を伸長し、併せて自由と権利、義務と責任の大切さを理解させることである。

第三は、開かれた学校。学校が自らの教育目標や教育計画を定め、その達成状況について評価し、保護者や地域に説明するとともに、その意見を学校運営に反映させることである。

第四は、郷土への理解を深め、愛情を培う学校。郷土「宮之城」を知ることで、それぞれの地域や学校の特色を生かした教育活動を一層充実することである。

大規模校二五人

学級の導入を

平八重議員 学習時間の減少

対策として、一学級二五人程度にできないか。

教育長 教室の確保や町独自の教員採用等、予算措置を伴うので、現段階では考えていない。

ペイオフ解禁対策は

平八重議員 四月からペイオ

フが解禁され、地方公共団体の預金も基本的には元本一千万円と、その利息分が保護されることになるが、その対策は、

取引金融機関の評価は

北村町長 現在のところ、対策を講ずる必要がある金融機関はないと考えている。

平八重議員 現在の借入金と預金額はどれくらいか。

町長 町が町内の金融機関から借り入れた地方債残高は、一〇億二、三二〇万円、預金総額は年間を通じて二三億三千万円程度である。

平八重議員 各種基金は証券運用をする考えはないか。

町長 各種基金の運用は現在、大部分を定期預金が主である。解禁後、国債等の証券の運用は有効な手段と思われるので、見極めながら検討したい。



4月から完全週五日制がスタート